

創業40周年に向け結束

延岡

西の丸グループ 謝恩会で親睦深める

県北を中心に県内や福岡県で遊技場を展開する西の丸グループ（本社門川町、西谷栄一会長、西谷淳社長）の平成27年度謝恩会が7日、延岡市別府町のマリエールオークパイン延岡であり、社員など約200人が来年迎える創業40周年に向け結束を固め親睦を深めた。

開会に先立ち、永年勤続社員84人と特別功労者19人に、西谷社長から表彰状と記念品が贈られた。

西谷社長は7人でスタートした創業時のことを振り返りながら、会社の歩みを紹介。数十年ぶりの身内の社員だけの謝恩会です。これからも『誠実』『協調』『汗を流して』『努力』の社訓の下、皆さんと共に50年、100年と続くよう努力したい。きょうはみんなで楽しみたい。ましよう」とあいさつ。

西の丸グループの謝恩会

を取って乾杯。和やかなムードでテーブルを囲み歓談した。

同社は、昭和51年12月、有限会社西の丸として延



岡市構口町で創業。延岡市、門川町に店舗を構えて事業を拡大。現在は日向市、川南町、福岡県久留米市などと合わせて11店

舗を展開している。

店舗のある地域での環境美化活動に力を入れてくるほか、東日本大震災など全国の被災地でボランティア活動を行うなど社会貢献にも尽力している。日本遊戯関連事業協会九州支部が9月9日に九州全域で実施する「クリーンデイ大掃除の日」は、同社の活動を参考に

始まったという。

西谷栄一会長は「被災地へのボランティアを募れば、われ先にと手を挙げてくれる社員がたくさん育った。会社が地域の信頼をいただいているのは社員みんなのおかげ。これからも地域への恩返しを第一に考えていきたい」と話した。